

学校のなか水族館  
 たまがわとあみ  
**多摩川投網クラブ**  
 みなみしろ  
**南白糸台小**

南白糸台小の多摩川投網クラブでは、多摩川で投網を使って魚を捕ったり、捕まえた魚などを水槽で飼育しています。現在、30種類のおよそ200匹の魚を25台の水槽で飼育しています。



水槽コンクールで飼育の様子を審査する横田さん(右下)



魚に詳しいけやきっ子が解説します

クラブ員は4〜6年生のけやきっ子15人。近くに住む元漁師の横田さんから投網の打ち方や、魚の飼育方法を教わりました。12月10日(火)には、水槽コンクールが行われ、各水槽で飼っている魚について図鑑で調べ、発表しました。また、横田さんも審査員として参加し、水槽の環境や魚が元気に過ごしているかなどを審査しました。横田さんから「魚の隠れ場所をちゃんと作っていますね。満点です」と言われて大喜びのけやきっ子。魚の飼育から生き物を育てる責任を学んでいます。



▲投網で捕った魚です

ミドリちゃん・マモルくんコーナー  
**お落ち葉掃除の巻**

押立町西公園では、周辺地域に住むけやきっ子が毎月2回、公園の掃除をしています。毎年、落ち葉がたくさん積もる季節には、落ち葉掃除を行います。昨年からは、集めた落ち葉の銀行では、集めた落ち葉を預けると、次の年から、欲しいときに預けた分を腐葉土として引き出せます。



▲これが落ち葉の銀行の通帳です



▲落ち葉もたくさん集まると重いね



▲公園は落ち葉でいっぱいです

「落ち葉を集めた分だけ、通帳にはんこを押してもらえて、はんこが増えていくのが楽しい」とけやきっ子。この日集めた落ち葉は、回収袋で42袋になりました。けやきっ子は、「みんなが集めた落ち葉が腐葉土になって公園に戻り、それが木や花の栄養になって、元気な葉っぱやきれいな花をつけてくれたらいいな」と楽しみにしています。落ち葉がたくさんあった公園は、たちまちきれいになりました。